

お問い合わせ先 一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-5289-7021 FAX.03-5289-7022 http://nutrition-management.jp

第2回「全国栄養経営士のつどい」プログラム決定!

全国の栄養経営士が一堂に会し 医療・介護の未来を考える場に!

2017年3月12日(日)に福岡県福岡市で開催される第2回「全国栄養経営士のつどい」のプログラムが決定した。医療・介護の第1線で活躍する識者の講演・パネルディスカッションに加え、栄養経営士が日頃の活動をプレゼンテーションする実践報告が行われる。第1回東京大会の参加者が語る大会の魅力とともに、プログラムの概要を紹介する。

第1回東京大会では約200人が参加

2016年3月13日(日)に開催された第1回東京大会には約200人が参加。栄養経営士を主役とした意欲的なイベントとして好評を博した。第2回大会は福岡に場を移し、さらなる内容の充実とスケールアップを図る。大会は、宮澤靖代表理事と日本栄養経営実践協会九州支部の片桐義範支部長による開会挨拶で幕が上がる。続

栄養経営士が登壇し日頃の実践活動を報告

休憩を挟み、午後には東日本税理士法人所長の長英一郎氏による特別講演②のあと、栄養経営士による実践報告が行われる。全国の栄養経営士を代表して5人程度が登壇し、日頃の活動の成果を報告する予定だ。報告後は山下茂子理事を座長に迎え、登壇者によるパネルディスカッションも行われる。報告者は詳細が決まり次第、協会ホームページで募集する。

第2回「全国栄養経営士のつどい」プログラム

	講演内容と演者(敬称略)
開会挨拶 10:00~10:10	宮澤 靖 一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事 片桐義範 日本栄養経営実践協会九州支部支部長
基調講演 10:10~11:10	リハビリテーション病院の経営における 栄養部門の果たす役割 栗原正紀 一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院理事長
特別講演① 11:10~12:10	在宅医療における 栄養管理の重要性と管理栄養士の責務 佐々木淳 医療法人社団悠翔会理事長
特別講演② 13:20~14:20	管理栄養士のための “知っておくべき”医療介護分野の動向 長英一郎 東日本税理士法人所長
栄養経営士 実践報告 14:20~15:35	栄養経営士による実践報告 およびパネルディスカッション <座長>山下茂子 一般社団法人日本栄養経営実践協会理事
特別パネル ディスカッション 15:45~16:40	栄養経営士が創る医療介護の将来像 <座長>宮澤 靖 一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事
閉会挨拶 16:40~16:50	秋山和宏 一般社団法人日本栄養経営実践協会副代表理事
懇親会 17:05~18:50	全国栄養経営士情報交換会

※12月1日現在。プログラムは変更になる可能性があります

その後、宮澤靖代表理事が座長を務めるパネルディスカッション(協合理事などが登壇予定)、秋山和宏副代表理事の開会挨拶、栄養経営士の相互交流を目的とした懇親会という流れになっている。

栄養経営士の役割や使命を再認識し、同じ志を持った仲間と医療・介護の未来を語り合う場として、一人でも多くの栄養経営士にご参加いただきたい。

栄養経営士の使命を改めて見つめ直す大会へ——第1回大会参加者が語る大会の魅力

阿部克幸さん
前橋赤十字病院
医療技術部
栄養課栄養課長

第1回大会では同じような悩みを抱えた方たちの意見が大変参考になり、自部署が周辺環境の変化にどう対応していくべきか、自分の行動を見つめ直しながら新たな企画戦略を想像する機会になりました。山下茂子先生の講演も印象深く、病院勤務時代の取り組みや勉強会の体制づくりなど、内容がとてもわかりやすかったと思います。懇親会は、ご高名な先生方や同じ志を持った栄養経営士と交流ができる大変ありがたい機会になりました。

第2回大会の実践報告では、チームの教育体制についてどのような戦略を立てて将来を見据えているのか、女性が多い栄養部門におけるワークライフバランスを考慮したキャリア設計など、人材育成に関する栄養経営士の発表をお聞きしたいです。

大久保陽子さん
社会福祉法人北野会
特別養護老人ホーム
マイライフ徳丸
主任管理栄養士

宮澤靖代表理事から管理栄養士としての問題意識やあるべき姿が直接聞けることは、日々の業務に追われる心を整理し、管理栄養士としてもっと向上しよう、日々の業務を見直そうというモチベーションにつながります。

第2回大会の実践報告では、管理栄養士の業務改善により、どのような経営への貢献があったのかについて、それぞれの事業(病院、施設、在宅)ごとに検証する発表を聞きたいです。

同じ意志を持った管理栄養士が共に活動している姿が見えてくると、栄養経営士の資格を取得した意義を感じられるでしょうし、会員数も伸びていくと思います。そうした実感が持てる大会になることを期待しています。

宮坂 光さん
練馬区社会福祉事業団
上石神井特別養護老人ホーム

宮澤靖先生を尊敬している管理栄養士にとって待ちにまった大会だと感じました。先生から直接ご指導を受けることが難しくても栄養経営士になることでつながりを持って、今後の管理栄養士のあり方を学ぶことができます。また、中村育子先生の特別講演は興味深い内容でした。訪問栄養指導が期待されている中、私の地域では管理栄養士の活躍はまだまだこれからという状況ですが、時代に乗り遅れないようにしていきたいです。

第1回大会では同じ志を持った全国の栄養経営士にお会いできて、とても有意義な時間を過ごすことができました。第2回大会では、管理栄養士がやりがいや誇りを持って仕事ができる環境の整備について率直なお話を聞きたいです。

森 茂雄さん
JA愛知厚生連
稲沢厚生病院
栄養科係長

第1回大会は、モチベーションが高く意欲的な人が集まっていると感じました。この場だから出会える人たちがいて、出会いは財産になります。自ら足を運び、直接話をすることで得られることも多いはずですが、どのプログラムも素晴らしかったのですが、山下茂子先生の講演が一番印象に残っています。管理栄養士だからできる給食経営を基盤とした総合的な栄養療法、管理栄養士の原点ともいえる食事についての取り組みや、楽しく仕事をするといったリーダー像にも感銘を受けました。

第2回大会の実践報告では、現場の栄養経営士が「これなら自分たちにもできそう」と明日からやりがいを持って働け、参加される皆さんの目標となるような報告を期待しています。

現場で活躍する栄養経営士たち

急性期病院の臨床現場において
人間的成長を視野に入れた
人財育成に尽力

第1回「栄養経営士」資格認定試験(2015年11月実施)に合格した松崎美貴さんは、埼玉県急性期医療を牽引する上尾中央総合病院で、栄養科係長として後進の管理栄養士育成に力を注いでいる。急性期病院では、目まぐるしく変化する臨床現場の状況に対応することが求められる。そんな中、松崎さんは「病棟に出て現場から学ぶことが重要」という信念を持って人財育成にあたる。どんな現場でも活躍できる管理栄養士を育てることで、栄養業界全体がレベルアップすることをめざし奮闘中である。

すべては患者さんのために
この目的意識が日々の業務を支える

松崎美貴さんは、大学卒業後の1998年に上尾中央総合病院に入職。結婚後も転職することなく、2度の出産後もフルタイムで職場に復帰した。主任を経て係長を務めるようになった。5年になるが、現在、人財育成の軸を担う立場にいる。



入職4年目の栄養科職員にマンツーマンで指導する松崎さん

松崎さんが人財育成で重視するポイントは、病棟に身を置いて経験を積ませること。「現場から学ぶことが何よりの成長につながる」という信念がある。「『病名ではなく病態で考えよう』と口で言うだけでは誰も理解できません。現実の患者さんを目の前にして、自分と患者さんの状態がいかに違うのかを理解するところから、患者さん目線の思考は生まれます。結果につながる栄養管理のためには思考の出発点をしっかりと持つことが大切であり、それを病棟で培ってほしいと

思います」

新人がいきなり病棟に出て、たいした働きはできないかもしれない。しかし、多職種の中に身を置くことで、一人の医療人として管理栄養士の立場や使命を認識するきっかけになると松崎さんは考える。事実、自身がそのような経験を重ねてきた。

松崎さんが同院に入職したのは、給食業務が全面委託へと切り替わった直後で、「管理栄養士は病態の栄養管理をしていく」という方向に向かう転換期だったという。「それまでは、食事づくりと栄養食指導の2つが管理栄養士の仕

事だという考えが支配

的でした。急に『病態』や『臨床』と言われるも、何をすればよいのかわかりませんでしたし、自分自身にあまりにも知識がないことにショックを受けました」「何のために病棟に出るのか?」「病棟で何をすればよいのか?」この自問を繰り返して、やがて松崎さんは、常にベクトルは患者に向いているということに気づいた。この目的意識が、その後の松崎さんを支え続けていく。

当時、他職種にとって、管理栄養士は病棟スタッフではなかった。「管理栄養士が病棟にくるなんて……」という



松崎 美貴さん
医療法人社団愛友会
上尾中央総合病院
栄養科係長

雰囲気の中で、松崎さんはこっそりカルテを見るなどして知識の向上に励んだという。スタッフ全員が快く受け入れてくれる環境では

医療人としての土台づくりこそ
松崎流人財育成のポイント

現在、同院では病棟に管理栄養士がいるのは当たり前だが、それは松崎さんが何年もかけて築き上げてきたものにほかならない。この点について松崎さんは、「若い職員が成長できる場を提供すること、先進の重要な役割だと思っています。ただ、場が整えられていることのデメリットもあります」と話す。

他人との距離感の取り方を誤り、他職種や患者とのコミュニケーションがうまくできない新人が増えていると

なかつたからこそ、他職種どう連携していくかを死活問題として真剣に考え、管理栄養士の役割を強く認識することへとつながった。

感じることも少なくないという。「メールやラインでのやり取りが身体に染みついていくからだと思いますが、自分のタイミングで連絡して、いったんボールを投げたあとは相手からの連絡を待っている、という感じですね。あまり相手のことが見えておらず、他人への鈍感さが目立ちます。そのため、まずは『接遇』に関係する事柄から教えていくようにしています」

松崎さんは栄養管理のスキルよりもむしろ

栄養経営のスペシャリストをめざし、さらなるレベルアップをはかる!

日本栄養経営実践協会

関東支部研究会 開催

日本栄養経営実践協会関東支部では、栄養部門にかかわる多様な課題を地域で解決できる人材の育成と、問題意識を持った栄養経営士同士のネットワークづくりを目的として、毎月第3木曜日に定例の研究会を開催しています。講義で学び、ディスカッションにより理解を深め、交流を通じて新たなネットワークを築ける場として、ぜひご参加ください!

参加者募集

2017年2月16日(木) 19:00~20:30

看護部門と栄養部門の連携推進に向けて(仮)

木村 由起子氏(介護老人保健施設かがやきライフ江東療養部長・看護師) ※講師に聞きたいことなどの質問事項も、事前に受け付けます。

講義後、ディスカッションを開催いたします。講師の先生はじめ、参加された皆様による情報交換などを通してネットワークを深めていただければと思います。ふるってご参加ください!

受講料 日本栄養経営実践協会会員：1,000円(税込)
その他一般：3,000円(税込)

会場 株式会社日本医療企画もとみやセミナールーム
(東京都千代田区神田東松山下町17 もとみやビル3階)

【お問い合わせ・お申し込み先】 一般社団法人日本栄養経営実践協会関東支部(日本医療企画関東支社内) TEL03-3256-2885(担当:梅田)



ナースステーションで看護師やリハスタッフと対応を話し合う。現在、管理栄養士の病棟担当制から病棟常駐制へ切り替えに動いている

ろ、医療人としての土台づくりこそが人財育成の核だと考えている。栄養管理スキルを身につけるには、場数を踏んで成功や失敗を繰り返すことが必要なので、いかに病棟に出るかが重要となる。しかし、その経験を業務に活かせるかどうかは、成功や失敗から学ぼうとする姿勢が欠かせない。

「いくらスキルアップの場を与えても、そこでの経験を自分で消化できなければ、もったいない時間になってしまいます。ですから、考え方とか姿勢というものを伝えていくことを大切にしています」と松崎さんは説明する。



松崎さんは給食業務の管理も務める。給食委託会社の担当者と共に検食を行う

「経営戦略とは勝ち続けるための戦略です」と語る松崎さん。勝ち続けるためには、経営戦略とは勝ち続けるための戦略です。勝ち続けるためには、経営戦略とは勝ち続けるための戦略です。

魅力を持った管理栄養士を育てていきたいという強い思いが、松崎さんを突き動かしている。

患者や他職種からも信頼される人間的魅力を持った管理栄養士に松崎さんは組織の経営やマネジメントに貢献するための知識を身につけるために、同院が所属する上尾中央医科グループ協議会人財開発部が主催する「経営戦略研究会」に参加している。これは次世代の経営人財排出を目的に、主任以上がグループを横断して職種・施設にとらわれず参加するものだ。講義では、経営修士(MBA)取得者が講師を務める、MBAカリキュラムに準拠し、双方向での意見交換を行う。論理的思考力、経営戦略、マーケティング、組織行動とリーダーシップなど、組織のリーダーとなる人材には不可欠なスキルとマインドを醸成する。

「人財育成も当院のただで考えてはいけません。どんなところで通用する魅力的な管理栄養士を育てることが、ひいては業界全体のベースアップにつながる」と考え、教育に当たっています。松崎さんは、こうしたマネジメントスキルをさらに磨くために、栄養経営士の試験を受験し、資格を取得した。管理栄養士は女性が多く、ライフステージによって同じ職場で仕事を続けるということが困難になることもある。別の環境でも自分の能力を発揮し、患者や他職種から信頼されるような人間的な魅力を持った管理栄養士を育てていきたいという強い思いが、松崎さんを突き動かしている。

他職種の声



西川 稿氏
上尾中央総合病院
副院長、消化器内科

消化器内科と栄養科は、他の診療科と比べても関係が深く、食事開始時や食形態の段階的アップの際など、担当の管理栄養士とやり取りする機会が多くあります。当院の栄養科は病棟で患者をよく診てくれるので、栄養に関しては一任しており、われわれ医師は何かあればアドバイスをする程度です。松崎さんは栄養科の代表として院内の部会や委員会に参加しているため、そうした場と一緒にいる機会が多く、特に私が議長を務める病院食改善部会では中心メンバーとして活動してもらっています。



久保田 巧氏
上尾中央総合病院
事務部長

急性期病院は今、在院日数を減らしているに稼働率を上げるのが経営の肝になっていますが、その意味でNSTの貢献はとて大きく、管理栄養士の業務の大きな部分を占めていると言ってよいでしょう。女性が多い部門では、結婚や出産などで人数の変動が出やすいのですが、人員が減っても経営的な数字を維持してくれるのはありがたいです。直接やり取りをしなくても安心して任せられ、結果を出してくれるので、こちらも栄養科が力を発揮できるようサポートに努めています。



山口 賢一郎氏
上尾中央総合病院
リハビリテーション技術科科長

当院では、リハビリテーションスタッフと管理栄養士が頻りにコミュニケーションを取っており、松崎さんともNSTやリハビリテーションを進める際に協同することが多いです。当院では来年度、心臓リハビリテーションの拡充を図っていきませんが、そのワーキンググループでも松崎さんは欠かせない存在です。また「経営戦略研究会」の仲間でもあり、病院全体の目標を栄養科の部門目標へと落とし込み、積極的に学会発表に励む松崎さんの姿に、同じ管理職として刺激を受けています。



信頼できる他職種の仲間は多い。「それぞれの職種が何を大切にしているかということも、病棟での経験を通じて理解できるようになります」と松崎さん

在宅栄養に興味のある管理栄養士の皆さまにおすすめ！
在宅&外来栄養食事指導の参考図書に最適なレシピ本

おうちで作る介護食クッキング入門

誰でもすぐに作れる
やわらか&おいしい30レシピ

摂食嚥下障害の方がよくなる。安全でおいしくて食べやすい食事を作りましょう。手間をかけずに、かんたん調理！ コンビニやスーパーで購入できるレトルト食品や調理済み食品、かんたんに作れるお惣菜などからアレンジする介護食レシピをまとめました。ユニバーサルデザインフード(UDF)、学会分類2013との対応もわかりやすく表示しています。



- PART1 お惣菜や手近な食品で作る かんたん介護食レシピ
- PART2 手間いらず パッククッキング入門&パッククッキングレシピ
- PART3 高齢者に適した食事と栄養素のバランス
- PART4 家族のお悩み相談室Q&A
- PART5 管理栄養士のための 栄養専門情報集

■編著者：齋藤郁子(認定在宅訪問管理栄養士・Sunshine栄養コンサルタント)
 ■著者：菊谷 武(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック院長)
 中村育子(福岡クリニック在宅部栄養課課長)
 真井睦子(栗山赤十字病院栄養指導係長)
 吉田貞夫(沖縄メディカル病院副院長)

■価格：1,404円(税込)

くわしくは

【お問い合わせ】 株式会社日本医療企画 TEL03-3256-2862

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

代表理事
セミナー情報

栄養経営士の可能性を考える ～新しい資格の誕生が与える栄養部門へのインパクトとは 於 メディケアフーズ展2017(第9回)

高齢者食・介護食の専門展示会・セミナーである「メディケアフーズ展」(主催:UBMメディア株式会社)に、昨年に引き続き宮澤靖代表理事が登壇。栄養経営の考え方・栄養経営士の可能性について語ります。

- 日程：2017年1月25日(水)・26日(木)
※宮澤代表理事のセミナーは25日(水)となります
- 会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール(東京都江東区有明3-11-1)
- 特設サイト：<http://www.medicarefoods.com/>
- お問い合わせ：メディケアフーズ展事務局(UBMメディア株式会社内)
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-8-3 神田91ビル
TEL：03-5296-1009

北海道支部

自分の働く業界(フィールド)を知っておこう! 「社会保障ゼミ」

自分たちが働いている業界のこと、きちんと理解できていますか? 社会保障制度の基礎やこれからの業界動向、10年後、50年後の日本の将来像まで、ゼミ形式でしっかり学びます。

- 日程：2017年1月20日(金)、2月17日(金)
- 講師：神内秀之介氏(社会福祉法人溪仁会法人本部事業推進部次長)
- 会場：日本医療企画北海道支社セミナールーム
(札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌あおばビル201)
- 受講料(各回)：日本栄養経営実践協会会員:1,000円(税込)
一般:1,500円(税込)
- 定員：30名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます
- お問い合わせ：日本栄養経営実践協会北海道支部準備室 担当:横尾
TEL：011-223-5125(株式会社日本医療企画北海道支社内)

ヘルスケア・レストラン
特別セミナー

結果を出せる減塩指導セミナー 一次予防から三次予防までを見据えて実践する

毎日さまざまな疾患の栄養指導を行っているけれど思うような結果につながらない、という方も少なくないのでは? 本セミナーは減塩指導をベースに循環器疾患・腎症における減塩療法や新たな国家戦略としての減塩の重要性を学びます。

- 日程：2017年2月26日(日) 14:00～17:30
- 会場：東医健保会館(東京都新宿区南元町4)
- 受講料：無料
- 主催：ヘルスケア・レストラン
- 協賛：大塚食品株式会社
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 TEL:03-3256-2862

学会情報

第20回日本病態栄養学会 年次学術集会

超高齢社会をむかえ複数の基礎疾患を多くかかえる高齢者の激増を背景に、病態栄養学に精通した臨床医や管理栄養士が多職種と連携することが求められます。病態栄養学に関心のあるさまざまな職種が集い、最新の知識を学ぶ場となります。

- 日程：2017年1月13日(金)・14日(土)・15日(日)
- 会場：国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)
- 会長：清野 裕(関西電力病院)
- 内容：講演、パネルディスカッション、シンポジウム、ワークショップ、他
- 特設サイト：<http://www.eiyou.or.jp/gakujutsu/>
- お問い合わせ：一般社団法人日本病態栄養学会事務局
TEL：03-5363-2361 e-mail：byoutai20@eiyou.or.jp

第2回「全国栄養経営士のつどい」 in 福岡 開催決定!

大会
テーマ

栄養部門が変われば病院・施設が変わる!

栄養経営士が創る医療・介護の未来像

開催日：2017年3月12日(日) 会場：パピヨン24ガスホール(福岡市博多区千代1-17-1)

大会詳細は決定次第
ホームページに掲載いたします。

<http://www.nutrition-management.jp/index.html> または

栄養経営士

検索



一般社団法人 **日本栄養経営実践協会**
The Japan Association for Nutritional Management Practice